

① はまなか

議会だより

NO149

令和6年7月15日発行



6月定例会

予 審	算 議	ルパン三世フェス事業の増額は	2P~3P
一 質	般 問	3人の議員が町政を問う	5P~7P
		「浜中学」を学んで (落合 瞬さん)	8P
		「弥栄」 (檜山 永汰さん)	

表紙の写真

6月30日、霧多布保育所で運動会が行われました。天候にも恵まれ、子どもたちの一生懸命な姿を見ることができました。日頃の練習の成果を発揮し、笑顔いっぱい思い出に残る楽しい運動会となりました。

国保税一世帯当たり 平均1万7946円の増 課税限度額106万円に

**6月
定例会
13日～14日**

本年も北海道から示された「標準保険税率」を基に、前年所得と決算見込みを考慮した上で税率等の改正を行った。

今回の改正で医療費分は一世帯平均24万1269円となり、前年度対比1万6165円の増。

後期高齢者支援分は一世帯平均7万8403円となり、前年度対比1248円の増。

介護分は一世帯平均7万1646円となり、前年度対比2570円の増。

これにより、一世帯当たりの総額は平均35万5567円となり、平均1万7946円の増額となる。本年4月1日からの適用となる。

なお、地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額

6月定例会が13日・14日の2日間の会期で開催。

一般会計・特別会計補正予算と条例改正など18議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計は5309万円を追加し、予算総額92億9193万円となりました。

一般質問は、3人の議員が登壇しました。

前年度との比較

年度	被保険者数	1人当たり 平均課税額	課税世帯	1世帯当たり 平均課税額	限度額
令和6年度	2,051	170,936	986	355,567	1,060,000
令和5年度	2,149	158,049	1,006	337,621	1,040,000
比較	△ 98	12,887	△ 20	17,946	20,000

※この表は医療費分、後期高齢者支援分、介護分の合算数である

額が後期高齢者支援分で2万円引き上げられ、3区分の限度額合計は106万円となった。

問 昨年度は総合文化センター改修工事などの事情もあり未開催であったが「モンキー・パンチ&ルパン三世地域活性化プロジェクト」から、今年度のイベントを企画・実施したいとの要望をうけての増額補正。

答 内容は、関係する声優を招致してのトークステージをはじめ、会場内では故モンキー・パンチ先生が生前に収集しておられたカメラ数十点を特別展示する企画も予定している。併せて霧多布岬まつり

問 ルパン三世地域活性化プロジェクト事業補助として220万円の増額補正であるが、内容と開催時期は。

を開催し、町民もルパンファンも楽しめるイベントとする。

日程については9月8日の開催を予定。



令和4年のルパン三世フェスティバル

**補正予算審議から
ルパン三世フェス事業の増額は**

教育研究指定校の内容は

問 当初予算20万円で、現在2校が指定されているが、

10万円増額の内容は。



教育研究活動の様子（茶内中学校）

答 この事業は、浜中町学校教育の推進および充実に資するための補助で、研究内容は大きく5分野である。

- ① 教育課程に関する分野
- ② 教科指導に関する分野
- ③ 道徳教育に関する分野
- ④ 特別活動に関する分野
- ⑤ 生徒指導に関する分野

昨年度に続き霧多布小学校と茶内中学校が指定を受

けており、本年度新たに散布小中学校が教科指導に関する分野を研究テーマとして指定されたことによる増額である。

研究結果は、町内の教員を対象とした公開授業での発表と教育長へ報告書を提出。研究期間は2年間。

景観計画の公表時期は

問 浜中町景観計画は、令和6年6月1日施行を予定していたが延期となった。報償費22万円の内容と今後の予定は。

答 令和6年3月末に委託業者から浜中町景観計画の素案が示された。町民へのパブリックコメントを行う前に素案の内容を役場内で共有するとともに、策定委員会に再度諮ることとした。報償費22万円は、景観計

画策定委員会の追加開催にあたり、委員一人あたり8500円の13人分で2回分を計上したもの。

今後は、6月中旬に景観計画の素案を役場内部で共有。その後、7月中旬に2回景観計画策定委員会を開催する。8月上旬～9月上旬にかけてパブリックコメントを実施。9月中旬に景観審議会を開催し、10月1日に景観計画を公表・施行する予定。

総合体育館改修工事の内容は

問 総合体育館改修工事費2403万円の内訳と施設利用者への影響は。

答 暖房給湯設備真空式ボイラーは、平成2年より34年経過。本年2月2機のうち1号機に亀裂が生じ部品交換・溶接などの修理が不可能なため2機同時に更新する。加えて、給湯加温配管の増設、外調機系統設備の撤去、自動制御盤を更新する。

なお、施設の利用についてはシャワー室、事務所給湯室、スケートリンクへのお湯の供給ができないが暖房は2号機で対応できている。更新後は、1号機からのみだった給湯を2号機からも可能にする。工期は11月上旬とする。

波岡玄智氏が旭日双光章を受章

波岡玄智氏は、平成3年から令和5年まで8期32年、平成19年から議長として4期16年の長きにわたり、浜中町議会議員として地方自治の育成・発展に貢献されました。

その功績が認められ、旭日双光章を受章し、5月8日に札幌市において知事より伝達表彰されました。このたびの受章、誠にありがとうございます。



辺地総合整備計画 変更

○変更（散布地区辺地）

火散布アサリ礁整備事業
1000万円から3250万円に変更。期間は令和5（9年度）までの5年間。

繰越明許費 繰越計算書の報告

○住民税非課税世帯等物価高騰支援給付金事業
1326万円

○戸籍関連システム

改修事業

986万円

○新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

4万円

○給食配送トラック購入

757万円

いずれも令和5年度内に終了できなかったことから、事業費を令和6年度に繰り越したことが報告された。

Ⅱ工事請負契約を可決Ⅱ

□万世橋補修工事

（契約先） 赤石建設（株）

（契約金額） 6435万円

（工期） 令和7年2月5日

□公営住宅個別改善工事

（茶内団地S63）

（契約先） 丸重種市建設（有）

（契約金額）

1億8590万円

（工期） 令和6年12月18日

□霧多布配水管耐震化

更新工事

（契約先） 出口・佐藤経常建設共同企業体

（契約金額） 7975万円

（工期） 令和6年12月20日

Ⅱ財産の取得を可決Ⅱ

□資源物収集車ダンプロトラック 一台購入

（取得先） UDトラックス 道東（株）釧路支店

（取得金額） 1815万円

（納期） 令和8年2月25日

□応急給水タンク1・5t 一台 2・0t二台購入

（取得先） 釧路扶桑物産（株）

（取得金額） 737万円

（納期） 令和6年10月18日

固定資産評価審査委員の選任に同意

6月13日開催の第2回定例会において大谷浩美氏を適任と認め、選任することに同意しました。（任期は3年）



大谷 浩美氏
（茶内）

監査委員の選任に同意

6月13日開催の第2回定例会において亀井英昭氏を適任と認め、選任することに同意しました。（任期は4年）



亀井 英昭氏
（暮帰別）



一般質問

渡邊 秀治 議員

問

避難タワー建設の
経過と今後の方針は

答

避難タワー4基の建設を
中心に考えていく

渡邊 都市防災総合推進事業として避難タワーを建設する予定であるが、建設にあたっての場所や規模について地域住民との合意形成の経過は。

町長 令和3年7月に道が津波浸水想定を公表。同年8月に沿岸地域7地区にて住民説明会を実施。令和4年8月までに外部専門機関を交えた避難対策

検討委員会を5回実施し、その報告を基に住民説明会を同月実施。

令和4年9月に津波避難対策特別強化地域の指定を内閣府から受け、令和5年3月に浜中町津波避難対策緊急事業計画を策定。同年4月に住民説明会を実施。令和5年12月に該当地域の自治会に避難タワーの概要を説明。これら住民説明会



避難タワーの完成予想図

などを通じて地域との合意形成はおおむね図られていると認識している。

渡邊 建設費の総額と町の負担額と負担割合は。

町長 タワー4基の建設費総額は、概算で23億297万円、町負担額は1億9857万円、負担割合は8・6%。

渡邊 2024年度の国からの補助金が要望の8割に

とどまるとの報道があるが当該事業の遅れの可能性は。

町長 不足分を起債および一般財源に振り分け対応するので事業の遅れはない。

渡邊 建設後の維持管理や周辺整備の内容と維持費の概算は。

町長 敷地内の草刈り、除雪や清掃は、建設課や各自治会と協議して決定する。建設後15年目および40年目に更新工事を予定。25年目に大規模改修を予定し、費用は建設費の30%とし、緊急防災・減災事業債を使用予定。年間コストは暮帰別タイプで61万円、その他3地区は各56万円を見込む。

渡邊 本町も少子高齢化が進展していくのは確実で、タワーへの避難が困難な住民も増えてくると考えられる。避難救命艇の配備は考えられるか。

町長 人命最優先を考えた場合に最善の方法は避難タワーしかないと思っている。タワーを建設した上で、必要性に応じて避難救命艇の配備を検討する。

一般質問

田 甫 哲 朗 議員



問

ルパン三世Payの
現状と将来展望は

答

地域通貨を見据え
商工会と協議・検討を

田 甫 ルパン三世Payカード事業は、開始から3年となるが加盟事業者数の推移は。

町長 加盟事業者数は、令和3年度43件・4年度44件・5年度37件である。

田 甫 5年度に7件の減少となった要因は。

町長 飲食店の閉店や事業者負担の増加から脱退する事業者も出ている。

田 甫 決済額の推移は。

町長 3年度は約1億1千万円で、4年度約1億6千万円、5年度約1億4千万円である。

田 甫 年間1億数千万円が町内で消費されており、経済効果の見込める事業であると思う。

キャッシュレス化が進む中、この事業を地域通貨として定着・発展させるには利便性の向上に加え、町が金券で給付している町民支援事業を行政ポイントとしてカードへ付与することが

有効的と思うが。

町長 行政ポイントを付与することで事務処理の軽減やカード事業の発展につながるものと考える。

ただ、極力多くの店舗・事業所で使用できることも必要である。

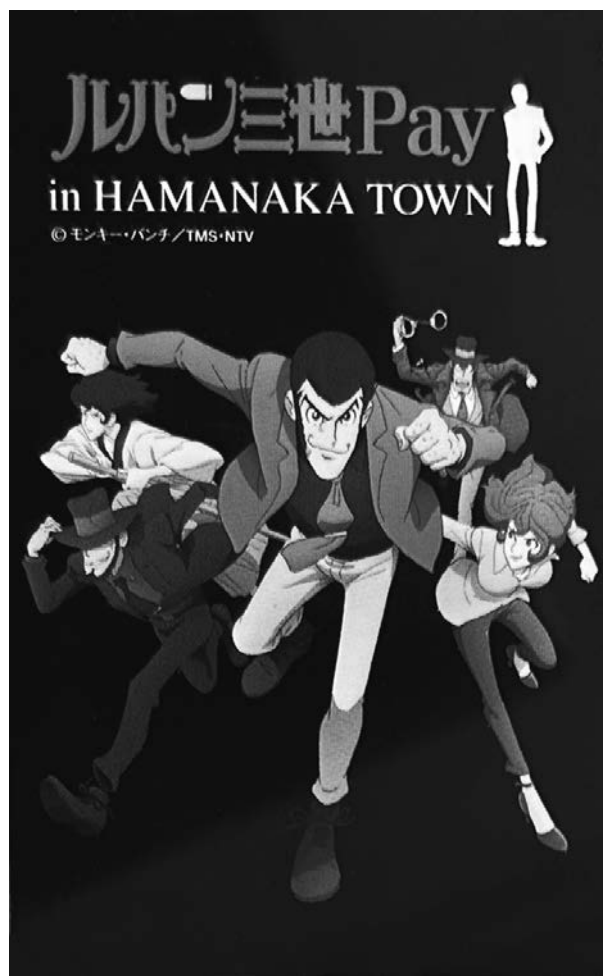
これまで運営はカード会であったが、6年度から商工会が事業主体となった。今年度の取り組み状況を注視しながら検討したい。

田 甫 運営経費の大きなものがシステム費であり加盟店負担増の一因でもある。

町予算の商工会補助を増額し負担軽減を図ることで加盟店の増加につなげるなどの打開策が必要では。

町長 事業者負担の増加が加盟の支障になっていることや消費者への還元方法などさまざまな課題があると認識している。

今後、商工会と情報交換・意見交換を重ね支援のあり方も含め協議し、浜中町のキャッシュレス通貨として継続・定着できるよう取り組んでいきたい。



Payカード



一般質問

三膳 時子 議員

問

防災対策は
町民の不安に万全か

答

防災に備える意識を高め
効果的な訓練を考える

三膳 津波浸水エリアの町民の人数と、本年防災訓練に参加した人数は。
町長 海岸地域全てで避難対象者2839人。訓練参加者は529人。
三膳 防災訓練時、避難ルートの問題はなかったか。
町長 霧多布地区において、遠回りになる避難者があり、今後対策が必要。

三膳 訓練に参加した町民の誘導と情報共有に問題はなかったか。

町長 無線で情報共有を図ったが、一部の避難場所での避難者の受け付け漏れがあった。今後職員の増員など対策を取る。また、霧高内における屋上までの誘導表示が不十分と分かり設置を協議する。

三膳 一時避難場所から次の避難する場所は決まっているか。また、誘導者は。

町長 大前提として津波警報および注意報解除まで避難場所に待機。指定避難施設は7カ所設定。誘導は町職員としているが、避難者が中心になると考える。

三膳 仮設住宅地の確保は。
町長 現在26カ所、1200戸分の土地を確保。

三膳 飲料水・生活水の確保は十分か。

町長 施設3カ所を設定。庁舎防災貯留槽・浜中3号配水池・茶内配水池の3カ所で約2000万リットル。その他ペットボトル約6000本を備蓄。

また、車載用応急給水タ

ンク3台を配置予定。

三膳 広報誌に防災欄を設けるなど、細やかな実のある訓練の検討は。

町長 町民の災害に備える意識を高める訓練の在り方など取り組みを考えていく。

問 ヒグマ駆除対策は

答 猟友会と協力し連携を図る

三膳 猟友会所属者のうちヒグマハンターは何人か。
町長 猟友会所属34人のう

ちヒグマハンターは13人。

三膳 ヒグマ目撃情報の際、猟友会へ要請するのか。

町長 人家付近、農地に頻繁に出没などの問題個体と判断した場合に要請。

三膳 ヒグマ駆除従事者の報酬の内訳は。

町長 報酬額は、出動手当として日額1万6500円。他町村と比べ低い設定ではない。今後も猟友会と協力連携を図り対応する。



家庭での備蓄の様子

弥栄

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校2年A組

落合 瞬^{しゅん}

私は1年生から現在まで浜中学を学んで浜中町を深く知ることができたと感じています。

1年次の浜中学では、浜中町の魅力や課題を知り、浜中町の食材を活かしたピザを作り、浜中町議会議員の皆様と意見交換会を行いました。

このような貴重な経験ができるのが、浜中学の魅力だと思います。

2年次では、1年次の経験を活かし「浜中学トークセッション」を行いました。トークセッションでは、講師として浜中町議会議員の

谷村様、大地みらい信用金庫の小上様、浜中町地域おこし協力隊の内田様にそれぞれ講演を行なって頂きました。御三方とも、浜中の魅力と課題がしっかりと見えていて、それぞれ浜中町をもっと良い町にしていきたいという思いがすごく伝わってきました。今後の浜中学にも活かしていきたいと思いました。

講演の後、1年生と2年生とで、講師の方とトークセッションを行いました。このトークセッションを行うにあたって2年A組では、事前準備として質問を考えていました。「意味のない質問」や「調べればわかるような質問」をするわけにはいかないので、事前準備で徹底的に調べ、その中で疑問に思ったことを質問しました。

トークセッションは、3つの班に分かれて行われました。私の班は、議員の谷村様に質問をする班でした。正直なところトークセッ

シヨンの結果は、個人的には自分たちの知識不足を感じざるを得ませんでした。谷村様のお話からは町民の声を少しでも町政に届けるという強い意志を感じましたが、私は谷村様に自分の意見を述べるための準備をしてきたつもりでしたが、自分の知識不足を感じ少し残念でした。せっかくの機会を良い経験にできなかったことが悔しい思いをしました。この反省を今後の浜中学に活かしていければと考えています。

現在、私たち霧多布高校2年A組では、『浜中学REBOOT』というスローガンを掲げ浜中学に挑んでいます。浜中学をさらに深いものにしていくため、これまでの経験を活かしていければと思っています。

● 揮毫 1年A組 榎山永汰さん

● 読み方 弥栄(いやさか)

● 意味 より一層栄えること

町のトピックス



琵琶瀬木道ガイドツアーが始まりました 6月23日撮影

団体バスツアー参加の皆さんへの琵琶瀬木道ガイドが今年も始まりました。主に本州から参加している観光客の皆さんは、ガイドの解説を聞きながら、「花の湿原」の代名詞を持つ霧多布湿原の散策を楽しんでいる様子でした。



この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和6年10月15日です。

町のトピックス(話題)を募集します!

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265